

令和5年1月吉日

各位

株式会社あいづダストセンター
代表取締役社長 一重 卓男

株主変更に関するお知らせ

謹啓 平素より格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、この度、現弊社株主と株式会社ヤマダホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役：山田昇、以下「ヤマダホールディングス」という。）の連結子会社である株式会社ヤマダ環境資源開発ホールディングス（本社：群馬県高崎市、代表取締役：桑野光正、以下「ヤマダ環境資源開発ホールディングス」という。）間で、弊社発行済株式の全株式を譲り渡すことを目的とする株式譲渡契約が令和4年12月23日に締結されたことに伴い、弊社の株主がヤマダ環境資源ホールディングスに変更になることをお知らせいたします。

株式譲渡の実行日は令和5年2月1日を予定しており、本件実行後はヤマダ環境資源開発ホールディングスの完全子会社となり、株式会社ヤマダホールディングスグループ（以下「ヤマダホールディングスグループ」という。）に参画することになります。ヤマダ環境資源開発ホールディングスは、ヤマダホールディングスの連結子会社であるとともに、株式会社ヤマダデンキを中核とするヤマダホールディングスグループの中で環境・資源循環事業を担う中間持株会社であります。

弊社は、会津地域に根差して一般廃棄物の収集と産業廃棄物の収集を行うことを目的に、昭和47年に設立して以降、平成元年に、第Ⅰ期中間処理焼却施設及び管理型最終処分場を柳津町に設置したことを端緒として、平成11年に第Ⅱ期中間処理焼却処理施設及び管理型最終処分場、平成29年に会津坂下町に中間処理選別施設、令和2年に第Ⅲ期中間処理焼却施設を設置いたしました。収集運搬から中間処理、最終処分に至るまでの一貫処理システムが弊社の最大の強みであり、設立以降半世紀の間、会津地域の自治体及び地域の皆様に支えられて、会津地域に根差した経営を行ってまいりました。

ヤマダホールディングスグループは、循環型社会の実現を目指して、グループを挙げて環境・資源循環事業に注力しており、製品や設備のリユース、リサイクル等事業を展開するとともに、廃棄物焼却発電施設を新設する予定です。弊社がヤマダホールディングスグループの一員となることにより、同グループの中間処理能力が向上するととどまらず、最終処分場をも同グループ内にて保有することとなります。これにより、ヤマダホールディングスグループが志向する真の循環型社会の実現に向けて、大きな一歩を踏み出すことになるものと確信しております。

弊社は、ヤマダホールディングスグループが目指す循環型社会の理念に共感するとともに、同グループが先導する循環型社会の実現に向けて、弊社が果たしうる役割は極めて大きいと判断い

たしました。また、ヤマダホールディングスグループが培ってきたノウハウと経営資源等により、弊社の一貫処理システムは更に充実し、今後新たな最終処分場の建設に向けて着実に進むことができると考えております。弊社とヤマダホールディングスグループ間でシナジーを生み出すことは、地元・会津地域へのより一層の貢献に繋がるものと確信しております。

社員一同、一層努力して参る所存でございますので、今後とも何卒格別のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白